



冬の交通安全

【ゆとりをもって、ゆっくりスピードで冬道を安全に！】

- スリップ事故を防ぐポイント
- 1. 交差点付近、トンネルの出入り口、橋の上、日陰部分は特に凍結注意！
- 2. ブレーキは夏場の2倍以上前からかける。
- 3. ブレーキペダルは軽い力で小さきみにかける。
- 4. ゆるやかなカーブでも、油断はしない。
- 5. 早めの合図（方向指示器）とブレーキ操作。
- 6. 車間距離は夏場の2倍以上とる。



●道路わきの雪山や悪天候による視界不良に要注意！

1. 道路を横断する時は見通しの良い所を選び、しっかり確認してゆとりをもって横断しましょう。
2. 雪山の陰からの歩行者の飛び出しに注意し、ゆっくりスピードの運転を心がけましょう。
3. 冬道は「滑りやすい」「見えにくい」「わだちができる」「道幅が狭くなる」等の危険が続きます。歩行者もドライバーも気を引き締めて交通事故防止に努めましょう。

●踏切事故の防止

1. 踏切の手前では、必ず一旦停止し、安全を確認してから渡ってください。

特に、冬季節は路面凍結によるスリップに備え、踏切手前では十分に減速しましょう。

また、積雪などにより踏切が確認しにくい場合があります。誤って線路に進入しないよう、はつきり確認してから通行してください。

2. 警報機が鳴ったら、踏切内への無理な進入はやめてください。
3. 踏切の中に閉じ込められた場合は、そのままゆっくり

車を前進させてください。（遮断棒は、車で押せば前方に跳ね上がります。）

4. 踏切内で動けなくなった場合（脱輪等）は、まず列車を止めてください。

・非常ボタンがある時は、カバーの上から強く押してください。信号機が作動し、列車に異常を知らせます。

・非常ボタンがない時は、列車に向って大きく手を振るなどして危険を知らせてください。発炎筒や赤色の物を使用すると効果的です。

・列車が停止した後、付近の人などの協力を得て脱出してください。

※脱出後は、最寄の駅に連絡してください。



■問い合わせ

町民課 ぐらし環境係

- ☎ 85 | 6 1 3 1
- 長井警察署 ☎ 84 | 0 1 1 0
- 白鷹西駐在所 ☎ 85 | 2 0 2 9
- 白鷹東駐在所 ☎ 85 | 2 0 4 6

vol.31

ぐらしの1Q1知識

2カ月ごとに消火器を買わされた！ 消火器の次々販売

事例

消火器販売の業者を名乗る男性が突然訪問してきた。以前、亡くなった夫が買った消火器交換なのだろうと思いい、2万円ほど支払って交換してもらった。すると、2カ月後にまた同じ男性が「消火器の取り替え時期だ」と訪ねてきたので、2万円支払って取り替えた。その後も2カ月おきに計4回訪問を受けて消火器を交換し、8万円以上支払ってしまった。こんなに頻繁に消火器を取り替えるのはおかしいのではないか。返金してほしい。（60代女性）

アドバイス

消火器の訪問販売に関する相談が後を絶ちません。事例のほかに、「この消火器は耐用年数を過ぎている」「消火器は1年に1回交換する義務がある」などと事実と異なることを言って購入させるケースがあります。

消火器には使用期限が表示されています。「交換」などと言われた場合は、まず表示を確認しましょう。また、一般住宅に消火器の設置義務や交換頻度などに関する決まりはありません。少しでも不審な点や分からない点があるときはその場で契約せず、きっぱり断りましょう。



■問い合わせ

町民生活相談センター
☎ 85 | 6 1 3 1

町民課 ぐらし環境係